

様式第3号（第4条関係）

会 議 録

1. 附属機関等の会議の名称 松川町総合基本計画審議会（第2回）
2. 開催日時 令和元年11月25日（月） 19時00分から20時30分まで
3. 開催場所 松川町役場 2階 大会議室
4. 総合基本計画審議会委員
坂本勇治、寺澤美佐子、米山俊孝、松井悦子、間瀬重男、松下敏章、宮下徹
平澤晃、清水正育、米山由子、山崎明梨、平栗昌平、北條栄子、北林誠、大澤彰実
小沢誠、石田喜則、木下稔、宮下彰、水野一昭、清水祐一、小島慎司、北林南
事務局
小木曾課長、新井係長、池田主査
5. 議題（公開）
 - （1）次期松川町総合基本計画の基本的な考え方について
 - （2）基本計画の構成（案）について
 - （3）SDGsを踏まえた総合計画の策定について
 - （4）策定スケジュールの見直しについて
 - （5）計画の骨子に関する意見交換
6. 非公開の理由（会議を非公開とした場合）
—
7. 傍聴人の数
0人
8. 会議資料の名称
 - ・松川町総合基本計画審議会（第2回） 次第
 - ・第5次松川町総合計画【改訂版】の基本的な考え方（資料1-1、資料1-2）
 - ・基本計画の構成（案）について（資料2）
 - ・SDGsを踏まえた総合計画の策定について（資料3）
 - ・策定スケジュールの見直しについて（資料4）

9. 会議の概要

(1) 開会

(2) あいさつ

(3) 会議事項

①次期松川町総合基本計画の基本的な考え方について（資料 1-1、資料 1-2）

②基本計画の構成（案）について（資料 2）

質疑応答

（委員）

・基本的な考え方の中に、「安心安全」という言葉が必要だと思う。町民にとって安全安心に過ごすことは大切である。防災、防犯、子どもの安全対策、安心して働ける地域づくりまちづくりを考えるのであれば、明記が必要である。

（事務局）

・基本的な考え方として住民の皆さんの生活に寄り添うということを今回の計画の方向性として考えている。そういう意味で安心安全は大切だと思っている。明確化していきたい。

（委員）

・基本計画構成（案）の災害について、4 基本方針-1 施策大綱-7 主要施策の災害時の水の確保とあるが、電気の確保についても考えてほしい。11月23日に片桐ダム発電所、小渋ダム第二発電所の中に新しく発電所ができるということで起工式が行われた。その中で、災害が発生した時に電気を松川町に供給していただけないかと話があった。担当者からは、考えていると話をしていただいた。今回の総合計画の中に電気供給に関する協定の締結を盛り込んでほしい。

（会長）

・松川町内にある水力発電だけで松川町の電気全てを賄える。災害時の協定ができることなら盛り込んでほしい。

（会長）

・人口に対する考え方の中に「人口減少対策に特効薬はない」という表現は、後ろ向きな表現に感じる。

（委員）

・私も感じたので検討してほしい。

（事務局）

・検討する。

③SDG s を踏まえた総合計画の策定について（資料 3）

質疑なし

④策定スケジュールの見直しについて（資料 4）

（事務局）

- ・第 3 回目の総合基本計画審議会を 12 月 17 日に開催したい。

⑤計画の骨子に関する意見交換

質疑応答

（委員）

・ 5 基本方針-3 関係人口の構築-9 リニア中央新幹線の開通を見据えた環境整備の中に、三遠南信自動車道開通も入れた方がいい。三遠南信自動車道開通は、移住定住の促進にも関係する。

（会長）

- ・ 入れる方向で検討願いたい。

（委員）

・ 資料 1-1 の中に出生数の減少、既婚者の低下、若者の転出などが挙げられ、町の方針として若者の転出を、地域を繋ぎながらどれだけ減らすかということを書かれているが、母体が減っていかないように出生数の減少をある程度クローズアップしてほしい。出生可能な女性に手厚い施策を進めてほしい。

（委員）

・ 資料 1-2 人口減少の緩和と人口減少時代の体制づくりの重点的な施策として、「若者と地域をつなぐ」「自治組織の在り方の摸索」が新たな視点で良いと思う。資料 1-1 「いつかは松川町に帰りたい」「離れていても松川町が大好きだ」「松川町のために何かをしたい」と若者自身が心を寄せる魅力的な地域でありたいものです。という願いのためにどのような施策をするかを次の具体化の中で示していただきたい。公民館の活動もシニア世代が中心であり、若者の活動もできていないのが現状である。

（会長）

・ コスタリカスタディツアー参加の高校生からは、松川町が好きで松川町の魅力を見つけないという意見があった。松川町の魅力をいかに子どもたち全体に知らせられるかが大切である。

（4）その他

（5）閉会